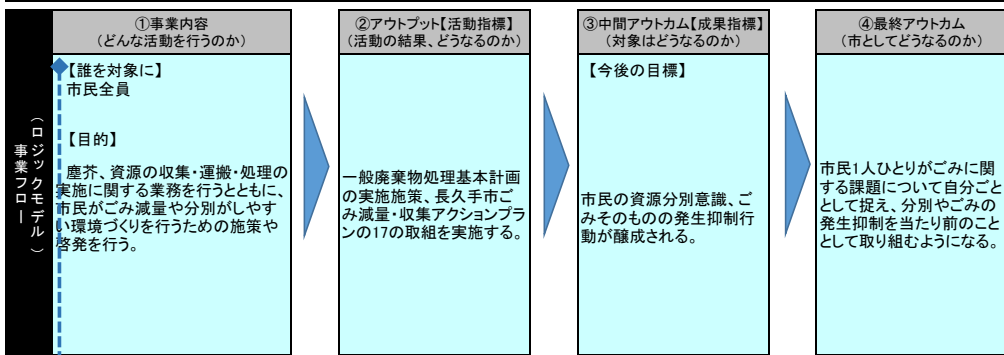


長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	19	事業名	清掃事業	担当部課	くらし文化環境課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物	決算書 ページ	—	
	行政改革指針・重点課題	—	会計 区分	一般会計	
	法定受託事務の有無	無	予算区分(款 - 項 - 目)		
	その他(関係計画、要綱等)	有	一般廃棄物処理基本計画、生ごみ処理機等購入費補助金交付要綱		
	事業開始の背景、経緯等	昭和42年もえるごみ収集開始、昭和60年資源の分別収集試行開始			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)			



項目	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
事業費(A)	千円	予算	152,805	162,867	161,219	166,994	249,609
		決算	150,389	154,483	142,924	167,088	-
人件費(B)	千円	決算	9,357	8,916	8,729	8,767	-
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	159,746	163,399	151,653	175,855	-
事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	人		58,545	59,499	60,035	60,352	60,770
対象あたりコスト(C/D)の過去3年平均値	千円		3	3	3	3	

中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】			【目標①】		【目標②】	
		R4年度 (2022) 年実績	R5年度 (2023) 年実績	R6年度 (2024) 年実績	R10年度 (2028) 年実績	R15年度 (2033) 年実績	R20年度 (2038) 年実績	
家庭系1人1日あたりのごみ排出量 (指標の設定根拠)	g	484			検討中		検討中	
(数値目標の根拠: 調査名、調査年など出典)								
5Rを推進することでごみの減量につなげるため、市民1人あたりのごみ排出量とした。一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値から算出して設定。								

事業開始からの経緯など	分別品目の細分化、さまざまな媒体や機会を用いた情報提供、ごみ発生抑制のための支援など、古くからごみ減量に向けてさまざまな施策を展開し、平成28年度までは順調にごみは減量していたが、それ以降減量は鈍化傾向となり、令和2年度当時は長久手市一般廃棄物処理基本計画に定める令和5年度の目標からは約15%乖離があった。もえるごみ組成調査を実施したところ約30%が本来資源であるものが混入していたこともあり、目標を達成するためには市民の資源への分別やごみそのものの減量行動を促す必要があるため、令和3年度にもえるごみ袋増額の検討を始めていた。
令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年度から検討していたもえるごみ袋増額の方針をいったん見直し、市民がごみ減量に取り組みやすい環境づくりを市が先行して実施することとした。増額とともに併せて実施する予定だった17の取組を「長久手市ごみ減量・収集アクションプラン」として策定した。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) かねてからの課題であった市民への啓発について、広報・ホームページの他に毎月ごみ減量化通信を発行して回覧を始めたが、広く市民への広報するため更なる啓発方法を検討する必要がある。今後はごみ分別アプリやイベントメール、ケーブルテレビ等でも啓発できるようにしていきたい。

今後	今後の方向性 (事業の成果を高めるための事業の方向性) 市民のごみ減量意識や分別意識を高め、ごみ減量目標を達成するため、令和4年度に策定した「長久手市ごみ減量・収集アクションプラン」の17の取組や、令和5年度中に策定する長久手市一般廃棄物処理基本計画に位置づける施策を進め、毎年度ごみの減量状況を確認する。基本計画に定める令和6年度末のもえるごみ排出目標に減量が達成できなかった場合は、もえるごみ袋増額を再度提案することとし、目標が達成できた場合は継続的にごみ減量状況を確認し、目標から乖離するような状況になれば、もえるごみ袋増額を検討する。
----	---

事業を構成する事務事業①	事務事業①	循環型社会推進事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	(1) ごみの組成調査におけるもえるごみ袋に含まれる資源混入率	%	見込	30.0	28.0	26.0	24.0	22.0
			実績	32.4				
	(2) 【アクションプラン】 1人1日あたりのごみ排出量 (家庭系及び事業系)【単年】	g	見込	645	633	621	609	597
		実績	687					
(3) 分別講座・環境学習等出前講座開催数	回	見込	2	2	2	2	2	
		実績	5					
<備考: 活動の概要 (R4年度(2022)) >							今後の方向性	拡充
・長久手市ごみ減量・収集アクションプランを策定し、市内6か所で説明会を開催 ・分別品目の細分化として「充電5品目」の回収を開始 ・「ながくてごみ減量化通信」を発刊するとともに毎月発行し、自治会等に回覧 ・市が洞小学校で小学4年生全員にごみ分別出前講座を開催 ・サントリー・豊田通商とペットボトル水平リサイクル事業の協定を締結							コスト投入	拡充

事業を構成する事務事業②	事務事業②	循環型社会推進事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	(1) 運営に携わる市民の人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考: 活動の概要 (R4年度(2022)) >							今後の方向性	
							コスト投入	

事業を構成する事務事業③	事務事業③	循環型社会推進事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	(1) 運営に携わる市民の人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考: 活動の概要 (R4年度(2022)) >							今後の方向性	
							コスト投入	